

平成29年度（2017年度）
山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講習名	教育相談 I		
講習期間	平成29年8月3日（木）～8月4日（金）	時間数	8コマ
教室名	サザンタワー3階301教室	受講定員	20名
担当講師	野中 弘敏（保育科教授）		
講義概要	<p>本講義では、臨床心理学の知見を手がかりに、保育・教育現場においてみられる心理的問題やその社会的現状とともに、問題に対応する相談援助の考え方を知り、子どもや保護者への援助の実践的方法を習得することを目的とする。1日目は、子どもの抱える問題を把握するためのアセスメントの方法にふれ、子どもをとらえるより深いまなざしを培うためのあり方について理解を深めたい。</p> <p>2日目は、子どもや保護者への相談対応にあたり有効とされるカウンセリング・マインドのあり方と言葉による関わり方について理解を深めたい。</p>		
学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育相談を支える心理学の基礎理論を理解する。 ・心理的問題を把握し対応方針を探るための態度と方法（アセスメント）を理解する。 ・不登校(園)の現状とその対応について理解する。 ・相談的関わりを支えるカウンセリング・マインドを理解する。 ・相談対応のための基本的態度と応じ方の方法（言語的技法）を理解する。 ・いじめの現状とその対応について理解する。 		
タイムテーブル			
8月3日（木）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	相談のための心理学の基礎理論	精神分析・(認知)行動療法等の考え方の理解
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	心理的アセスメント	心理的問題とその背景を把握し、対応方針を検討する過程の理解
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	実習：「気になる事例」を振り返ってみよう	ワークシートを用いて子どもの問題とそのとらえ方を振り返る方法の体験的理解
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	子どもをめぐる社会的問題—不登校(園)	不登校(園)の現状と要因、可能な対応のあり方についての理解
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	

タイムテーブル			
8月4日(金)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	カウンセリング・マインドの基礎理論	自己理論とカウンセリング・マインドの理解
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	言語的技法	相談援助に際してのきき方・応じ方の方法の理解
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	実習：聴いて・応じてみよう	ロールプレイによる相談の受け方・応じ方の体験的理解
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	子どもをめぐる社会的問題—いじめ	いじめの現状と要因、可能な対応のあり方についての理解
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			

平成29年度（2017年度）
山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講 習 名	保育研究（言葉）		
講 習 期 間	平成29年8月21日(月)～8月22日(火)	時 間 数	8コマ
教 室 名	サザンタワー3階301教室	受 講 定 員	20名
担 当 講 師	佐藤 喜美子（保育科教授）		
講 義 概 要	<p>1日目は、次期「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」を見据えて、保育内容（言葉）の不易と流行を見直すとともに、言葉の領域における、言葉がけの重要性、及び、絵本選びとその読み語りの重要性について再認識する。</p> <p>2日目は、幼児期の言葉の発達と育成に深くかかわる、保育者・教育者としての資質・能力を磨くとともに、より具体的な実践事例を吸収し合いながら、言葉の指導の在り方の幅を広げる。</p>		
学 習 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ AL(主体的・対話的で深い学び)の礎を培う、幼児期の言葉の育ちの重要性の再認識。 ・ 幼児期の言葉の育ちを通して、学びの芽生えや自立への基礎を考える。 ・ 幼児期の終わりまでに育てたい10の姿と言葉とのかかわりを考える。 ・ 絵本を選んで、読み語りする技能の向上を目指す。 ・ 保育者・教育者として必要なコミュニケーション能力の向上を目指す。 ・ 家庭に向けた「通信」を書き、家庭教育への支援を考える。 ・ 言葉の育ちを目指して いろいろな手法を身に付ける。 		
タイムテーブル			
8月21日（月）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	保育者として、教育者として	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次期教育要領・保育指針の方向性 ・ 保育者・教育者としての資質能力の確認 ・ 小学校への接続
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	幼児の言葉の育ちのために	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の気持ち・言葉を受け止めて言葉掛けを考える ・ 私メッセージを学ぶ
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	幼児の育ちのための絵本	絵本をどう選ぶかの確認
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	絵本の読み語り・演習	絵本の読み語りの技能向上
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	

タイムテーブル			
8月22日(火)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	コミュニケーション力を高める	アサーティブなコミュニケーション コーチングによるコミュニケーション
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	「お便り」を書き、如何に活かすか	通信の書き方 家庭教育への支援
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	昔話の語り・演習	昔話の読み語りの技能向上 リテラチャーサークル アニマシオン ビブリオバトルなどの演習
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	話し合いの技法を使って	ワールドカフェの手法で、演習 こんなとき、幼児にどのような言葉 掛けをしますか
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			
次の本を参考に使います。			
①「子どもが育つ魔法の言葉」ドロシ・ロー・ノルト PHP 文庫			
②「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」ロバートフルガム 河出文庫			
③「江戸しぐさ」越川禮子 朝日新聞出版			

平成29年度（2017年度）
山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講 習 名	発達心理学特論Ⅱ		
講 習 期 間	平成29年8月23日(水)～8月24日(木)	時 間 数	8コマ
教 室 名	サザンタワー3階301教室	受 講 定 員	20名
担 当 講 師	中野 隆司（保育科教授）		
講 義 概 要	<p>1日目は、児童期から青年期にかけての発達について考察する。児童期については「遊び」や「学校」とのかかわりについて検討する。青年期についても「学校」とのかかわりをはじめ、とくに「アイデンティティ」の形成についてやや詳しく検討する。また、発達障害、学習障害、その他問題行動（ひきこもり等）についても考察する。</p> <p>2日目は、生涯発達の観点から、成人期及び老年期・死に至るまでの発達について考察する。成人期については、とくに子育てについて最近の知見（脳科学等）をもとに考察する。老年期については、「老年的超越」や「死と意識」の問題について考える。また、成人（大人）の発達障害や反社会的行動についても考察する。</p>		
学 習 の 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・児童期における遊びや学習することの意義について理解を深める。 ・青年期のアイデンティティの形成について理解を深める。 ・発達障害、学習障害などについて理解を深める。 ・成人期と子育てについて、脳科学の知見も含めて理解を深める。 ・老年期と死の問題について、心理学の観点から考察してみる。 ・成人（大人）の発達障害などについて、事例をもとに理解を深める。 		
タイムテーブル			
8月23日（水）			
コマ数	講義時間	内 容	学習のポイント
1	9:00～10:30 (90分)	児童期の発達	遊びの意義、児童期と学校での学習について、事例により理解する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 (90分)	青年期の発達	10代の発達、思春期と学校について、また、アイデンティティの形成について考察する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 (90分)	発達障害・学習障害（児童期の事例）	児童期の事例をもとに、発達障害・学習障害について理解する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 (90分)	青年期の諸問題	青年期の発症が多い統合失調症や、ひきこもりなどの問題について考察する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	

タイムテーブル			
8月24日(木)			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00~10:30 (90分)	成人期の発達	脳科学の知見も含め、主に成人期と子育ての問題について理解する。
	10:30~10:40	休憩	
6	10:40~12:10 (90分)	老年期と死	老年的超越、死と意識などの問題について考察する。
	12:10~13:00	昼食休憩	
7	13:00~14:30 (90分)	成人(大人)の発達障害	いくつかの事例をもとに成人(大人)の発達障害について理解を深める。
	14:30~14:40	休憩	
8	14:40~16:10 (90分)	青年・成人の「反社会的行動」	発達過程における問題が、反社会的行動の原因になるケースについて。
	16:10~16:20	休憩	
	16:20~16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			